



モーニングスター “ファンド オブ ザ イヤー 2020” 『優秀ファンド賞』 受賞

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社が運用する「米国NASDAQオープン Bコース」が、モーニングスター“ファンド オブ ザ イヤー 2020”の国際株式型（特定地域） 部門（対象ファンド数：718本、2020年12月末時点）において、『優秀ファンド賞』を受賞しました。



『優秀ファンド賞』受賞

国際株式型（特定地域） 部門



当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型（特定地域） 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド718本の中から選考されました。

弊社におきましては、今後も今回の受賞に応えるべく一層の努力をしておりますので、引き続き「米国NASDAQオープン Bコース」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づきものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

上記は過去の一定期間の実績が評価されたものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ポイント



1. 2020年の振り返り①～市場編～
2. 2020年の振り返り②～ファンド編～
3. 足元の運用状況～ポートフォリオの一部変更など～

1. 2020年の振り返り①～市場編～

2020年は“激動”の年

2020年は、いわゆるコロナショックに揺れた1年でした。人々の接触が忌避され、家庭生活や労働環境など、これまで行なってきた行動様式が難しくなり、社会生活の変容を迫られました。経済環境においても、企業利益の先行きが極めて不透明となり、一部企業で資金繰り懸念が急速に台頭、米株もS&P500株価指数が一時2,200ポイント近くまで、急落しました。その後、中央銀行による流動性供給により、信用不安が急速に低下、経済活動も徐々に再開し、株価もV字回復を遂げました。

また、11月には、米大統領選が行なわれました。バイデン氏の当選は大方の予想に沿った形であったものの、民主党が連邦議会上院の過半数を取れない公算が高まり※、いわゆるトリプルブルー期待が低下。その後のワクチン開発報道で経済再開期待が高まったこともあり、長期金利は乱高下、株式市場も、物色対象が目まぐるしく入れ替わる展開となりました。

※その後2021年に入り、結果として民主党が事実上の多数派となりました。

このような“目まぐるしく激変する”相場環境の中、ファンドは昨年6.0%ベンチマークを上回るパフォーマンスとなりました（次頁に続く）。

S&P500株価指数およびEPSの推移



Bコース基準価額およびベンチマークの推移



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. 2020年の振り返り②～ファンド編～

独自の成長ストーリーを有する銘柄に着目することで、高パフォーマンスにつながった

当ファンドは、NASDAQ上場銘柄の中から、収益性および成長性に着目し、最終的には40-60銘柄に厳選投資します。利益率や成長率などといった定量的な指標に加え、独自の成長ストーリーを有する銘柄に着目し、とりわけ、新しい市場を創造するようなサービス・製品を提供する企業を、高く評価します。

例えば、米国のEコマースプラットフォーム提供会社のアマゾン社が挙げられます。同社のプラットフォームでは、豊富なラインアップだけでなく短い配送時間や送料無料サービスなど他社のプラットフォームに先駆けた付加サービスが提供されています。Eコマースの普及による成長だけでなく、当社の築き上げた物流網の大きさや会員数の多さが中期的な競争優位性につながると判断し、保有しました。

また、米国のソフトウェア企業のアドビ社も挙げられます。同社は、AcrobatやPhotoshopなど、デジタルコンテンツの作成において必要不可欠なソフトウェアを提供しています。業界標準のツールというだけでなく、人工知能による編集提案などコンテンツ作成における生産性を飛躍的に向上させるソリューションを提供しており、同社製品のもたらす付加価値はますます高まっていると判断し、保有しました。

このような銘柄を発掘・調査の上、保有することが、昨年のパフォーマンス向上に寄与する結果となりました。

ファンドの投資方針（銘柄選定）

株式への投資にあたっては、成長性、収益性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資することを基本とします。

成長性

各業界の成長性およびその中での優位性に着目し、経済全体の成長を上回ると期待できる企業に注目します。

収益性

高い収益率を維持している、または収益率の改善が期待できる企業に注目します。

安定性

高い成長性、高い収益性を継続的に達成できる経営力など、企業の安定性に注目します。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
(出所) 目論見書より野村アセットマネジメント作成

アマゾン社およびアドビ社の株価



期間：2019年12月31日～2020年12月31日、日次
2019年12月31日を100として指数化
(出所) Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

3. 足元の運用状況～ポートフォリオの一部変更など～

コロナのワクチン開発期待の急上昇を受け、 ポートフォリオを一部変更

11月に米大手製薬会社がコロナウイルス感染防止に有効なワクチンを開発したとの報道、ひいては経済活動正常化への期待の高まりを受け、ポートフォリオを一部入れ替えました。これは、株式市場において割安株が評価されやすい市場環境が、一定期間継続するとの判断に依拠しています。

より具体的には、ズームビデオ社やアトランシア社など、より高い成長性が期待されている銘柄の投資比率を引き下げた一方で、スターバックス社やジェンテックス社など、どちらかと言えば成長性よりも安定性や経済活動の正常化に伴う恩恵が期待される銘柄の比率を、引き上げました。

独自の成長ストーリーを持つ銘柄を選別

引き続き当ファンドでは、景気サイクルに左右されにくい、独自の成長ストーリーを持つ銘柄に注目して参ります。例えばマッチ・グループは、世界最大のマッチングアプリを運営しており、オンライン上で人のつながりが生まれる新しい様式が今後も普及し、その恩恵を受けられる銘柄と考えております。

今回「優秀ファンド賞」を受賞させて頂きましたが、より一層気を引き締め、NASDAQ市場上場銘柄群の中から、収益性や成長性の高い銘柄を発掘・厳選するプロセスを継続することにより、引き続きファンドのパフォーマンス向上に貢献して参りたいと考えます。

Bコースの組入上位10銘柄比較 (2020年10月末と11月末)

2020年10月末		2020年11月末	
銘柄	純資産比	銘柄	純資産比
アマゾン・ドット・コム	8.1%	マイクロソフト	7.9%
マイクロソフト	8.0%	アマゾン・ドット・コム	7.6%
アトビ	6.7%	フェイスブック	6.2%
ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ	4.5%	アップル	4.2%
エヌビディア	4.5%	アトビ	3.2%
インテリット	3.9%	コストコホールセール	2.9%
マスターカード	3.4%	アルファベット	2.9%
ASMLホールディング	3.3%	スターバックス	2.8%
フェイス	3.0%	ジェンテックス	2.5%
アトランシア	2.7%	オートマチック・データ・ソリューションズ	2.3%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。
(出所) 野村アセットマネジメント作成

Bコースの組入上位10銘柄 (2020年12月末)

銘柄	業種	純資産比
マイクロソフト	ソフトウェア	8.0%
アマゾン・ドット・コム	インターネット販売・通信販売	7.8%
フェイスブック	インタラクティブメディアおよびサービス	5.9%
アップル	コンピュータ・周辺機器	4.5%
アトビ	ソフトウェア	3.3%
スターバックス	ホテル・レストラン・レジャー	2.8%
コストコホールセール	食品・生活必需品小売り	2.8%
アルファベット	インタラクティブメディアおよびサービス	2.6%
ジェンテックス	自動車部品	2.4%
マッチ・グループ	インタラクティブメディアおよびサービス	2.1%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。
(出所) 野村アセットマネジメント作成

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- NASDAQ総合指数 (Nasdaq Composite Index) は、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。Nasdaq Composite®およびNasdaq®は、The Nasdaq Stock Market, Inc. (以下、その関係会社とともに「ナスダック」といいます。) の登録商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックはファンドの合法性および適格性について保証するものではありません。ファンドは、ナスダックによって設定、承認、販売または販売が促進されるものではありません。ナスダックは、ファンドに関して担保責任を負わず、いかなる責任も負担しません。
- S&P500業種別指数は、スタンダード&プアーズファイナンシャルサービシーズエルエルシーの所有する登録商標です。

上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国NASDAQオープン

設定来の運用実績

Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額の推移

期間：2000年11月29日（設定日）～2021年1月29日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国NASDAQオープン

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いません。
- 米国のNasdaq上場株式を実質的な主要投資対象[※]とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、成長性、収益性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資することを基本とします。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入比率を一時的に引き下げる場合があります。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドは、以下をベンチマークとします。

Aコース	Nasdaq総合指数(円ヘッジベース) ^{※1}	Bコース	Nasdaq総合指数(円換算ベース) ^{※2}
------	-----------------------------------	------	----------------------------------

※1「Nasdaq総合指数(円ヘッジベース)」は、Nasdaq Composite Index*(USDルベース)をもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して円換算した指数です。

※2「Nasdaq総合指数(円換算ベース)」は、Nasdaq Composite Index*(USDルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算した指数です。

* Nasdaq Composite Indexは、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。

- ファンドは「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.S.A.インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
 ◆ 運用にあたって、ノムラ・アセット・マネジメントU.S.A.インクは、委託会社より、情報の提供およびアドバイスを受けます。
 (注)2021年1月4日にノムラ・アセット・マネジメントU.S.A.インクへの運用の指図に関する権限の委託を解除することを予定しています。
- 原則、毎月5月および11月の28日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 無期限(2000年11月29日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、5月および11月の28日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
 または1万円以上1円単位
 自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スwitching 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.694%(税抜年1.54%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に
 応じて異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【分配金に関する留意点】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり量が小さかった場合も同様です。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会/
 一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

● ホームページ

http://www.nomura-am.co.jp/



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。